

令和6年度

入善町立入善小学校

令和7年1月22日



学校だより

学校の教育目標 「じりつする子供の育成」

教室の様子をご覧ください。 ほぼ毎日更新 <http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>



楽しい学校にするのは、だれ？

校長 内山 真之

「なんだか変わってきたな」と感じたのは、「音楽集会」の前でした。ダンスクラブのメンバーが、休み時間も集まり、何度も練習していました。自分たちでダンスの質を上げ、揃えることに真剣に取り組んでいます。音楽集会、当日。のびのびと踊る姿に全校児童が息をのみました。そして、全校合唱。これまでより、とても一体感が感じられたのです。

「もしも6年生が本気で委員会を考えたら…」という挑戦的な委員会活動が4月に始まりました。スマイル委員会を中心に、情熱とアイディアと行動力で、学校を面白くしてくれています。この音楽集会もその一つです。



4月の始業式で、「楽しい学校にするのはだれ？」と聞いたら、「校長先生」という声もあったのですが、今なら、みんなが「自分たち」と答えてくれるだろうと思います。

各学期の始業式と終業式に、各学年の代表が、全校の前で話すチャンスがあります。原稿を読まずに話すという、実は、厳しいステージなのです。3学期の始業式に、「新年の抱負の発表」がありました。今回も各学年の代表が、堂々と話してくれました。どの子もよく準備して、このステージに立ってくれています。6年生の田中万成さんが、

「今までの自分だったら、この新年の抱負に立候補しなかった。今年は、何でも挑戦しようと思って、初めて、新年の抱負発表を希望しました」と話しました。成長のためには、越えるべき壁が必要です。自分自身で、少し難しいこと、厳しいことに取り組んでいくことが一番、成長できます。それを「主体性」、本校では「じりつ」としています。

私たち教員がよく使う教育学者ウィリアム・ウォードの格言があります。

ふつうの教師はただしゃべる。よい教師はわかるように解説する。

優れた教師は自らやってみせる。しかし、最高の教師は子供の心に火をつける。

あの哲学者、ソクラテスも同じことを言っています。

「教育とは、炎を燃えあがらせることであって、入れ物を満たすことではない」

自らやろう、やりたいと思う気持ちに勝るものはありません。子供の心にどう火を付けるか。難しいのですが、それがまた教師として、親としての醍醐味かもしれません。

本年も、子供たちの健やかな成長を願い、主体性を育んでいきたいと思っています。

1月21日 大休憩 カフト大会

スマイル委員会による「カフト大会」が、大休憩に自由参加で行われました。カフト（Kahoot!）は、オンラインで「4択クイズ」ができるアプリです。入小では、よく使われています。全校参加ではなく、休憩時間ですので「参加は自由」という設定です。いい天気でしたので、外で遊ぶ子も多く、自由参加というのもいいものです。



3学期の主な行事予定

1月

- 23日(木) 5年宿泊学習(スキー らいちょうバレー)
- 24日(金) 5年宿泊学習(雪中活動 立山青少年自然の家)
- 24日(金) 6年ふるさと学習(事前講義)
- 29日(水) 体育科器械運動特別授業(5年、3年B組)
富山大学教育学部 佐伯聡史 準教授
- 30日(火) 1年生生活科(にゅうぜん保育所年長児招待)

2月

- 1日(土) 自卑同窓会 42歳祝賀会(入善小)
- 4日(火) 6年スキー学習(らいちょうバレー)
- 7日(金) 学習参観・学年懇談会・中学入学説明会
- 10日(月) 6年ふるさと学習(ウーケ、海洋深層水活用施設、洋上風力発電施設付近)
- 11日(祝) 県小中高生書き初め大会
- 17日(月) 4年音楽科箏(こと)体験特別授業
- 19日(水) 6年生を送る会(午前)、学校評議員会

3月

- 17日(月) 卒業証書授与式
- 24日(月) 令和6年度修了式
- 28日(金) 離任式(児童は自由参加)

- ※ 5年体験学習栈俵(さんだわら)づくり 調整中
- 3年社会科特別事業(黒部川扇状地研究所) 調整中

予定は、諸事情で急に変更することがあります。

乳酸菌飲料飲用開始

本年度の乳酸菌飲料飲用が開始しました。入善町内の全保育所、小学校、中学校にアサヒ飲料(株)北陸工場様と入善町から乳酸菌飲料「L-92」を提供いただいております。

毎年、ありがとうございます。今年度は、帰りの会に飲料し、冬場の健康づくりに役立てていきます。



12月19日 音楽集会・6年生の考えた給食メニューの紹介

音楽集会が開催されました。「ダンスクラブの発表」「イントロクイズ」「全校合唱」です。

「ダンスクラブ」の発表では、休み時間も集まって練習している6年生の主体的な姿に感心しました。「6年生の考えた給食メニュー」の発表では、プレゼンが独創的で、全校大爆笑でした。

このメニューは、全校のタブレットでの投票により、実際に給食のメニューとなります。子供たちのパワーが溢れた、心に残る集会となりました。

